

競技上の注意

競技審判上の注意

[全般的事項]

1. この大会は、(公財)全国高等学校体育連盟が定めた大会実施要項及び平成24年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程並びに公認審判員規程により行います。
2. 審判はすべて大会本部にて行います。なお、サービスジャッジは、学校対抗では準々決勝、個人対抗では準決勝よりつけるものとします。その他の試合においては原則としてつけません。
3. 選手は試合開始予定の1時間前までには会場に到着し、必ず「受付」を済ませてください。
4. 競技の進行を円滑に進めるために、「受付」「集合」等の時間厳守に努めてください。
5. 試合の進行状況に応じて、予定された試合の開始時刻やコートを変更することがあります。コールには十分注意をしてください。
6. 試合を連続して行う場合のインターバルは次の通りです。
＜学校対抗＞ 学校対抗が連続する時は、30分とします。
＜個人対抗＞ 個人対抗(単・複)が連続する時は、20分とします。
7. 各試合(マッチ)のインターバルは次の通りです。
○すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認めます。
(選手は20秒前にはコートに入ること)
○第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間には120秒を超えないインターバルを認めます。(選手は20秒前にはコートに入ること)
8. インターバル中のアドバイスは、監督・コーチなど同時に2人までです。主審の「(コート番号)20秒」で、コートから離れてください。なお、コーチングシートを設けます。
9. 個人対抗単において、試合開始前の練習(3分間)をする相手は対戦相手とします。
その際のシャトルは、大会本部が用意します。
10. 試合(マッチ)中の水分補給、汗ふきなど主審の許可を得てください。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとします。
○容器は倒れてもこぼれないスクイズボトルを使用し、主審横の指定した入れ物に入れてください。
○氷嚢は、ベンチ、コーチングシートで保冷バックなどに入れ、保管してください。
11. サービスの遅延行為に関する判定は主審が行います。
12. 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認められません。
13. 次のような違反行為に対しては厳正に対処をします。(競技規則第16条)
○息切れなど、体力回復等の遅延に関わる行為、又は、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせる行為。
○主審の許可なしにコートを離れること。
○故意にシャトルに手を加えたり破損したりする行為。
○審判員や観客に対して横柄な振る舞い、下品で無礼な態度、言動。
○見苦しい着衣でプレーをする。
○ラケットや身体でネットなどのコート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や奇声を発するなどの不品行な振る舞い。
14. 競技中は、必ず高等学校名・都道府県名の入ったシャツを着用するか、ゼッケンをつけてください。
(背面の文字は明確に判読できるもの)
15. 競技中の怪我や病気は、主審が判断します。もし必要ならレフェリーを呼び、レフェリーの判断に従うこととなります。
16. 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。もし判定に対し疑問がある場合には、次のサービスが為される前に「質問」をすることができます。ここで質問ができる者とは、団体戦においては、当該選手と監督、個人戦においては、当該選手に限ります。(監督は「IDカード」を必ずつけてください)
17. 選手は試合終了後、選手同士の握手の後、主審(サービスジャッジ)とも握手することを心がけてください。
18. 会場により会場ルールが設けられている会場があります。
19. 競技場内では、携帯電話の電源を切るか、もしくはマナーモードにしてください。また、競技フロア内での携帯電話の使用は、一切認めません。
20. その他は監督会議における打ち合わせ事項に準じます。

[学校対抗に関する事項]

1. 監督、コーチ、マネージャー、選手の変更は監督会議をもって最終のものとし、以後の変更は一切認められません。
2. タイムテーブルの次に指定する試合に出場するチームに限り、当該日の試合開始前に競技会場コートでの練習を認めます。
試合開始時刻 9:30～(先番) → 練習時間(10分間) 8:20～8:30
試合開始時刻 9:30～(後番) → 練習時間(10分間) 8:30～8:40
3. 初回戦のオーダー用紙は、監督会議資料の袋に同封してあります。次回戦以降は主審が直接手渡します。
4. オーダー用紙は、6枚複写で記入し、(1)～(5)を提出し、(6)を自校で保存します。
5. オーダー用紙は試合開始の30分前に、封筒に入れオーダー交換所に提出をしてください。なお、対戦校立ち会いのもとでオーダー交換を行いますので、時間厳守をお願いします。
6. 定時(指示のあった時刻)までにオーダー用紙の提出が無いときには「棄権」とします。
7. エントリーをしている者(監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5～7名)は、試合開始15分前に選手集合所に集まり、係員の指示に従ってください。
8. ベンチに入ることができるのは、当該試合にエントリーされた者のみです。
9. 入場は、主審の誘導により、組み合わせ番号の先番チームからとします。
10. 試合開始前の練習は、試合ごとに、あいさつの後、主審の指示に従って3分間とします。
11. 試合は1回戦より2～3コート並行して行うことがあります。その際、同一選手が連続して試合をする場合のインターバルは10分とします。
12. 試合は勝敗決定(3マッチ先取)後、打ち切りとします。
13. 勝敗が決定したら対戦チームとあいさつをし、主審の誘導により、プラカードに続いて整列し、勝利チームから退場をしてください。

[個人対抗に関する事項]

1. 選手の変更はいかなる場合でも認められません。
2. タイムテーブルの次に指定する試合に出場する選手に限り、当該日の試合開始前に競技会場コートでの練習を認めます。
試合開始時刻 9:00～ → 練習時間(10分間) 8:00～8:10
試合開始時刻 9:50～ → 練習時間(10分間) 8:10～8:20
3. 選手は試合開始10分前に選手集合所に集まり、係員の指示に従ってください。
4. 入場は、主審の誘導により、組み合わせ番号の先番選手からとします。
5. 試合開始前の練習は、あいさつの後、主審の指示に従って、3分間とします。
6. 勝敗が決定したら対戦相手とあいさつをし、主審の誘導によりプラカードに続いて整列をし、勝者から退場をしてください。

一般上の注意

1. 各競技会場とも、開場は午前7時50分です。
2. 競技者は会場到着後、IDカードを着用の上、「受付」を済ませてから入場してください。
3. 各競技会場とも、係員の指示や会場の表示に従って、外履きと上履きの区別をつけてください。
4. 競技フロア内での飲食やクーラーボックスの持ち込みを禁止します。但し、学校対抗の際、ベンチでの水分補給を認めます。濡れた場合は、各校の責任できれいにしてください。
5. 部旗・応援旗を使用する際には、競技に支障がないように配慮をお願いします。なお、大会本部が競技や大会運営に支障があると判断した場合は、指示に従って撤去してください。
6. 応援の際、競技に支障をきたすことがないように配慮をお願いします。太鼓やラッパ、笛などの鳴り物、うちわ、メガホンなどを利用した応援は禁止します。競技に支障があると競技役員長が判断した場合は、競技規則に基づき厳正に対処します。
7. フラッシュ・ストロボを用いての写真撮影は禁止します。また、会場施設内の電源(コンセント)の使用は禁止します。ご協力ください。
8. ゴミは各自で責任を持って処理をし、「可燃物ゴミ」「不燃物ゴミ」「ビン」「カン」「ペットボトル」の分別収集に協力をお願いします。「来たときよりも美しく」の気持ちを心掛けてください。
9. 競技中の疾病・傷害については応急処置のみ主催者で行いますが、その後は各自で処置をしてください。
10. 防犯上、貴重品はじめ私物の管理は、各自(各チーム)で責任を持って行ってください。
11. 競技会場で2階の観覧席から応援する場合、フロアへの落下事故防止のため、最前列は着席して応援してください。また、通行に支障が生じる通路での応援も配慮をお願いします。